

第3分科会第5回（3月17日）主な委員の意見

○総論（「すべての女性が輝く社会」について）

- ・ 生き活きと暮らすことで自然と輝く。
いかなることにおいても、主体的にかかわることで輝く。
- ・ 自己肯定感＝輝く。
- ・ 様々なライフステージで、学ぶ、能力発揮等様々な社会参加ができる社会。

○活動しやすくする工夫

総論（マインドセット・自己肯定感）

- ・ 自己肯定感をもち、一人ひとりが自分を発揮できることが重要。
自己肯定感をあげるには褒める、他人からの受容、自己受容。
- ・ 社会貢献ができることで自己肯定感をもちことができる。心の循環が起こる。
- ・ 自分で考えて生活する力、サバイバル力、応用力は重要。
- ・ 小さなことでも自己実現していく経験が大切。
- ・ 社会参加→自立→社会貢献→社会変革へとつながる。

シチュエーションの分類

- ・ 分類の仕方として子育て基軸でよいのか。
- ・ 青少年の時期のマインドセットを解くことも重要。
- ・ より必要な実践提案と取組がフォーカスできるように、女性の置かれたシチュエーションを細分化し、・ 青少年期、・ 妊娠・出産期、・ 乳幼児保育期、学童就学期、・ 子育て後（ポスママ活躍）期の5つに分類すべきでは。
- ・ すべてのシチュエーションにおいて、マインドセット、生活力、社会参加、自己実現は大切。